

2012年度 環境活動レポート

活動期間：2012年4月～2013年3月



株式会社ケー・シー・エス

発行日 2013年6月15日

会社概要

事業者名及び代表者

会社名 株式会社 ケー・シー・エス
代表者名 代表取締役社長 山下 憲一
本社所在地 兵庫県西宮市西宮浜1丁目43番地
TEL 0798-35-9035 FAX 0798-35-9063

事業所の所在地及び規模

事業規模

		2010年	2011年	2012年
売上高	億円	520	529	529
従業員数	人	328	343	484
床面積	m ²	20,260	20,260	20,966

事業所

事業所	所在地	従業員数	延床面積
西宮事業所	兵庫県西宮市西宮浜1丁目43番地		6,640m ²
本社		25人	
西宮C D C		98人	
西宮パックセンター		73人	
京都C D C	京都府京田辺市草内当ノ木1	59人	5,135m ²
東大阪C D C	大阪府東大阪市東鴻池町1丁目8番30号	73人	2,674m ³
高槻C D C	大阪府高槻市玉川3丁目1番2号	55人	2,615m ³
加西C D C	兵庫県加西市網引町字丸山2001番40	54人	2,031m ³
岡山C D C	岡山県都窪郡早島町早島4962番41	47人	1,871m ³

【環境管理責任者及び担当者連絡先】

環境管理責任者 経営統括本部長 長谷川 輝男
連絡担当者 業務部設備グループ 中之庄谷 琢夫
TEL 0798-35-9035 FAX 0798-35-9063

事業の内容

食品の仕入・販売
自動車運送取扱業
食品加工業

環境方針

基本理念

株式会社ケー・シー・エスは、地球の自然の恵みを受けて成り立っている企業であることを十分認識し、かけがえのない地球環境を大切にすると共に自然との共生を図り、環境に配慮した企業活動を通じて、持続可能な社会の発展に貢献します。

基本方針

1. 当社の事業活動にかかわる環境側面を常に認識し、環境活動を推進します。あわせて効果的な環境マネジメントシステムの構築を図り、その継続的な改善に努めます。
2. 環境に関わる法規制及びその他要求事項等を順守して事業活動に取り組みます。
3. 以下の項目を株式会社ケー・シー・エスの環境管理重点テーマとして取り組みます。
 - (1) 地球温暖化防止のため、CO2の排出抑制に努めます。
 - (2) 全ての企業活動において限りある資源を大切にし、省資源、省エネルギーに努めます。
 - (3) 商品の仕入れから、配送に至る全ての段階で、環境負荷削減に配慮します。
 - (4) 継続的な自己啓発を通じ自己革新と生産性の向上を図り、環境負荷削減に努めます。
 - (5) 環境問題に関し、常に自然や社会との共生に努めます。
4. 株式会社ケー・シー・エスの環境の取り組みについては、環境報告書やホームページ等を通じて広く情報を開示します。

2012年6月7日

株式会社ケー・シー・エス
代表取締役社長

山下 憲一

企業理念

食品の仕入れ、加工、販売とロジスティクスを通じ、人々の快適な食生活の実現に挑戦し続けます。

経営理念

- ・ 社会から信頼される企業を目指す。
- ・ 組織・個人の活力と能力を高める企業を目指す。
- ・ 顧客重視の高品質企業を目指す。

行動指針

- ・ 私たちは、永続的に存続するために、現状を直視し、変革に挑戦し続けます。
- ・ 私たちは、すべての人たちからの信頼を得るために、コンプライアンスを遵守します。
- ・ 私たちは、より良い環境を創造するために、積極的にエコ活動を推進します。

2012年度環境目標

環境目標

購入電力のCO2排出係数は、関西電力0.355、中国電力0.674で算出

目標項目	単位	2011年度実績		2012年度目標		2014年度目標	
CO2排出量	kg	1,967,705	100%	1,928,361	98.0%	1,905,000	96.8%
購入電力使用量	kwh	4,281,953	100%	4,235,200	98.9%	4,196,000	98.0%
都市ガス使用量	m ³	71,592	100%	70,145	98.0%	69,100	96.5%
L P G使用量	kg	53,816	100%	51,953	96.5%	52,000	96.6%
ガソリン使用量		2,263	100%	1,805	79.8%	1,765	78.0%
紙類使用量	kg	27,974	100%	31,555	112.8%	30,771	110.0%
水使用量	m ³	29,615	100%	29,700	100.3%	28,500	96.2%
廃棄物排出量	kg	816,735	100%	832,065	101.9%	808,568	99.0%
リサイクル量	kg	755,661	100%	771,255	102.1%	763,218	101.0%

環境活動計画

実施項目	具体的取り組み事項
電力使用量の削減	・照明の間引きとタイマー・人感センサー導入及びLEDに取替える
	・洗浄ラインを省エネ仕様に入れ替える（高槻CDC）
	・屋根の塗装工事は、遮熱塗料を使用し冷凍機の負荷を抑える
	・設備の定期点検を実施する（冷凍機・空調機・洗浄ライン・洗車機）
	・夏季は、冷凍機・エアコンの室外機にすだれを覆い直射日光を遮る
ガス使用量の削減	・洗浄ラインは年4回の定期点検を実施する
	・高効率のボイラに入れ替える
	・洗浄機の温度設定を季節に応じて変更する
	・洗浄作業終了前にボイラを停止し、以降はボイラの残圧を利用する
紙類使用量の削減	・ペーパーレスの推進をする
	・集約印刷・両面コピーに努める
水使用量の削減	・洗浄ラインの水使用量を日々記録し異常時は調査し対応する
	・洗面所・散水栓・洗車機・洗浄機の蛇口等の水漏れ有無の巡回をする
リサイクル量の増加	・シュリンクフィルム・PPバンドのリサイクル業者を模索する
	・各事業所の廃棄物置場の整理を行い、分別の徹底をする
	・びん・缶・ペットボトル・一般ごみの分別を徹底する
社会との共生	・西宮浜産業団地（西宮事業所）のグリーンデイの実施と情報交換
	・加西南産業団地（加西CDC）のクリーンキャンペーンと情報交換
	・各事業所は周辺の歩道等の清掃活動を定期的実施する
	・商工会議所等からの環境に関するセミナー等に積極的に参加する
	・年2回のグリーン商品購入品目を調査し、グリーン商品の推進をする
法令の遵守	・産業廃棄物管理票の発行、回収、照合をする
	・産業廃棄物管理票交付状況報告書を作成し提出する
	・インターネット等で法規制や条例の改定・違反がないか確認する
	・エコアクション2.1に基づき内部監査を各事業所1回実施する
	・洗車機油分離槽の清掃と水質検査を6ヶ月に1回、受水槽は年1回実施
	・年間のエネルギー使用量（原油換算1,500kl）にあたるか毎月記録
環境教育の推進	・教育の一環としてエコ検定を受検させる（年間6名）
	・DVD教材を使いエコ運転・安全運転教育を所属ドライバーに実施
	・ワンポイントレッスンを毎月各事業所に配布し掲示する

2012年度環境目標の実績

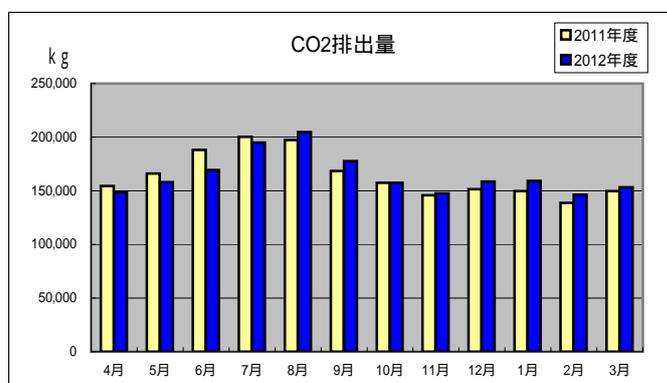
環境目標

購入電力のCO2排出係数は、関西電力0.355、中国電力0.674で算出

目標項目	単位	2011年度	目標	実績	目標増減率	評価
CO2排出量	kg	1,967,705	1,928,361	1,976,601	102.5%	×
購入電力使用量	kwh	4,281,953	4,235,200	4,275,958	101.0%	×
都市ガス使用量	m ³	71,592	70,145	78,972	112.6%	×
LPG使用量	kg	53,816	51,953	53,512	103.0%	×
ガソリン使用量		2,263	1,805	2,130	118.0%	×
紙類使用量	kg	27,974	31,555	25,011	79.3%	
水使用量	m ³	29,615	29,700	30,394	102.3%	×
廃棄物排出量	kg	816,735	832,065	897,860	107.9%	×
リサイクル量	kg	755,661	771,255	830,088	107.6%	

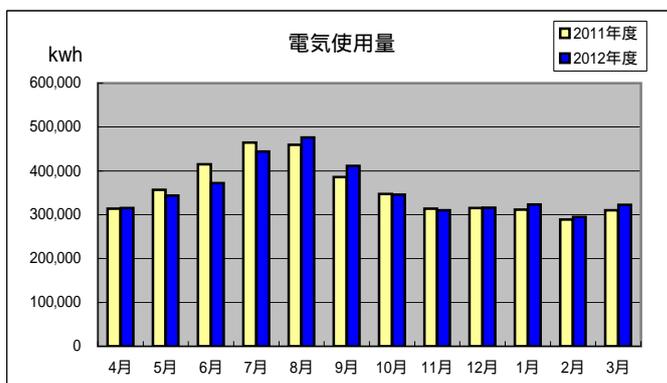
【CO2排出量】

4月から7月までは前年より減少できたが、10月以降は事業の拡大により庫内の改修や増設、設備機器の導入等で電力使用量が増加した。また、洗浄ラインで使用する、都市ガス・LPGも運転時間延長等で使用量が増加し、CO2排出量は目標値に対し2.5%増え、前年比でも0.5%の増加となった。



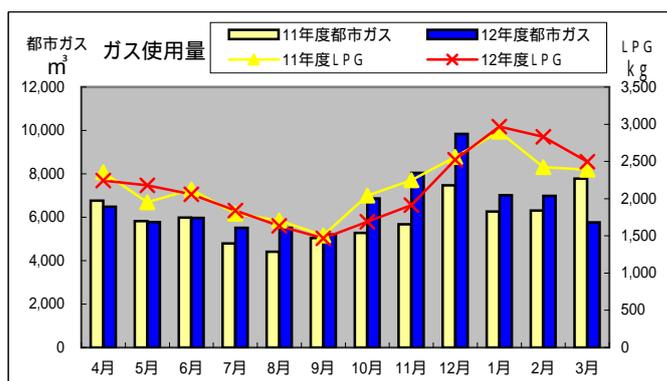
【電気使用量の削減】

5箇所のCDCで定温エリア拡張工事を行う際、定温エリアの蛍光灯をLED照明に取り替えたが、空調機を増設したため電気使用量が増加した。高槻CDCの洗浄ラインを省エネ仕様に入れ替えたが、岡山CDCの洗浄機を自動ライン化に更新したことにより電気使用量が増加した。加西CDCの屋根塗装工事は庫内チルドエリアの冷凍機負荷考慮して遮熱塗料で6月に施した。電気使用量は目標値に対し1.0%増えたが前年比では0.1%減少した。



【都市ガス・LPG使用量の削減】

都市ガスは、2箇所のCDCで洗浄機タンクのレベル位置の不良で使用量が増加し、目標値に対し12.6%増え、前年比でも10.3%と増加した。LPGは、岡山CDCで自動洗浄ラインに入替えたが、運転時間の延長でLPG使用量が増加となり、目標値に対し3.0%増えたが前年比では0.6%の減少となった。



【紙類使用量】

紙（コピー用紙・帳票類）使用量は目標値に対し20.7%の削減となり、前年比でも10.6%の減少となった。一部のC D Cで使用量の報告の漏れや事業の拡大により紙類の使用量が増加した。

【水使用量】

7月から8月にかけて高槻C D Cで埋設配管の約600m³の漏水と、2箇所のC D Cの洗浄機タンクの不適切なレベル設定があり余分な水を排出したことにより、目標値に対し2.3%増え、前年比でも2.6%の増加となった。各C D Cに設置している大型洗車機の水使用量は、事業所全体の約40%を占めているが、2箇所のC D Cでテスト的にスタート時、エンド時の放水のタイミングを変更するプログラムにより以前より約15%の節水ができた。

【廃棄物量・リサイクル量】

廃棄物は全体で目標値7.9%と増え、前年比でも9.9%増加した。内訳は、段ボールの入荷形態が増え段ボールが前年比11.7%増加し、紙類の排出量は3箇所のC D Cで書類を古紙として処分したため全体で前年比23.2%の増加となった。シュリンクフィルム等のプラスチック類は、生産数量の減少等により前年比10.6%減少した。一般ごみについては、各C D Cで新たな仕分け業務と従業員が増えたこともあり前年比11.0%の増加となった。

【社会との共生】

各C D Cは所属する配送会社と共に定期的に周辺の歩道・側溝の清掃活動を行い、定着できてきた。西宮事業所では市防災課と消防署の「津波避難とA E D研修」や商工会議所と外部専門家による「省エネ診断」や「省エネセミナー」に参加するなど活動できた。グリーン商品は年2回調査した結果、全体で前年より17品目増加した。

【法令の遵守】

産業廃棄物管理票（マニフェスト）の発行・回収管理や「交付状況報告書」も期日までに市へ提出した。社全体のエネルギー使用量は、原油換算で1,222klであった。法規制や市の条例の改定や違反の有無は5月に問題ないことを確認した。各C D Cの洗車機油分離槽の清掃と水質検査を6ヶ月に1回計画通り実施し、2箇所のC D Cの受水槽の点検も計画通り1年以内の5月に実施した。産業廃棄物の最終処分場の確認は2月にプラスチック類の業者を事務局で行った。内部監査については、全事業所を事務局で1回行い、環境への取り組み状況や現場を確認し、指摘事項については速やかに改善された。

【環境教育の推進】

eco検定（環境社会検定試験）は年6名の合格を予計画していたが、結果3名であった。各C D Cの所属ドライバーは、3ヶ月に1回はエコ運転・安全運転の教育用DVDを全員が視聴し継続した教育ができた。環境教育の一環として「ワンポイントレッスン」を毎月各事業所に配布して掲示した。

2013年度環境目標

環境目標

購入電力のCO2排出係数は、関西電力0.355、中国電力0.674で算出

目標項目	単位	2012年度実績		2013年度目標		2015年度目標	
CO2排出量	kg	1,976,601	100%	1,987,328	100.5%	1,964,400	99.4%
購入電力使用量	kwh	4,275,958	100%	4,280,840	100.1%	4,233,200	99.0%
都市ガス使用量	m ³	78,972	100%	72,835	92.2%	72,000	91.2%
L P G使用量	kg	53,512	100%	54,580	102.0%	53,800	100.5%
ガソリン使用量		2,130	100%	2,088	98.0%	2,000	93.9%
水使用量	m ³	30,394	100%	29,345	96.5%	29,000	95.4%
紙類使用量	kg	25,011	100%	26,653	106.6%	25,800	103.2%
廃棄物排出量	kg	897,860	100%	903,017	100.6%	893,900	99.6%
リサイクル量	kg	830,088	100%	835,552	100.7%	838,000	101.0%

2012年10月から2013年3月にかけて、5箇所のC D Cで改修・増設工事を行い事業の拡大を行ってきた。2013年度は、特に電気使用量削減、L P G使用量削減を重点に取り組み、課題であったシュリンクフィルム等のリサイクル化を行い、一般ごみ排出量の削減を図る。

環境活動計画

実施項目	具体的取り組み事項
電力使用量の削減	・蛍光灯照明をL E D照明に取り替える
	・計画的に省エネタイプの冷凍機やエアコンに取り替える
	・屋根の塗装工事は、遮熱塗料を使用し冷凍機の負荷を抑える
	・設備の定期点検の実施（冷凍機・空調機・洗浄機ライン・洗車機）
	・電力監視システム導入事業所は、毎月使用量を把握し活用する
ガス使用量の削減	・洗浄ラインの定期点検を年4回実施する
	・洗浄ラインの保全体制を整え管理強化を図る
	・洗浄機の温度設定を季節に応じて調整する
紙類使用量の削減	・ペーパーレスの推進をする
	・集約印刷・両面コピーに努める
水使用量の削減	・洗浄機ラインの水使用量を日々記録し異常時は調査し対応する
	・洗面所・散水栓・洗車機・洗浄機の蛇口等の水漏れ有無の巡回
リサイクル量の増加	・排出物の管理会社と連携しリサイクル化と一般ごみの削減をする
	・びん・缶・ペットボトル・一般ごみの分別の徹底をする
社会との共生	・所属産業団地の清掃活動と情報交換をする
	・各事業所は周辺の歩道等の清掃活動を定期的実施する
	・商工会議所等の環境等に関するセミナー等に積極的に参加する
	・グリーン商品の推進し、年2回のグリーン商品購入品目を調査する
法令の遵守	・産業廃棄物管理票の発行、回収、照合をする
	・インターネット等で法規制や条例の改定・違反がないか確認する
	・エコアクション21に基づき内部監査を各事業所1回実施する
	・洗車機油分離槽の清掃と水質検査を6ヶ月に1回、受水槽は年1回実施
	・年間のエネルギー使用量（原油換算1,500kl）にあたるか毎月集計
環境教育の推進	・教育の一環としてエコ検定を受検する（年間5名）
	・D V D教材を使ったエコ運転・安全運転を所属ドライバーに教育
	・ワンポイントレッスンを毎月各事業所に配布し掲示する

環境関連法規等の改訂・違反有無の取りまとめ

(1) 当社に適用される法規制等は次の通り、毎年遵守し評価を行っています。

環境関連法規	対象設備	法規制等要求事項	違反の有無
下水道法	洗車機	特定施設の届出(新設、変更) 排出基準の遵守	無し
水質汚濁防止法	洗車機	特定施設の届出(新設、変更)	無し
騒音規制法	冷凍機、乾燥機	特定施設の届出(新設、変更)	無し
振動規制法	空気圧縮機	特定施設の届出(新設、変更)	無し
廃棄物処理法	産業廃棄物	産業廃棄物保管基準の遵守 マニフェストの運用	無し
フロン回収破壊法	冷凍機、空調機	フロン回収業者によるフロン 類の回収が義務化	無し
消防法	建築物等	防火管理者の選任・届出 消防計画の届出	無し
水道法	受水槽	10m ³ 以上の貯水槽 (簡易専用水道に該当)	無し

(2) 環境関連法規への違反、訴訟はありません。又過去3年間に関係当局からの違反等の指摘はありません。

代表者による全体評価と見直し

2012年度は、庫内定温エリアの照明のLED化や、省エネ型洗浄ラインの入替え、冷凍機・空調機等の更新を計画的に実施した。一方で、事業拡大による建物の増設・改修により定温エリアの設備が増えたことや電気料金が値上げされたため、今後は更に電気使用量削減の取り組みを強化していく必要がある。また、2013年度は事業所の廃棄物を総合的に管理するために、管理会社と契約し、一般ごみの削減とリサイクル化の推進、コストの見直し等を図っていきたい。

代表取締役社長
山下 憲一